



令和5年度 施政方針



施政方針全文は市ホームページに掲載しています。

「市民と企業が元氣な丹波市をめざして」

「子どもたちに帰ってこいよと言えるまちづくり」に向けて、令和3年度は基礎固めの年として位置づけ、しっかりとした土台を築き、令和4年度では、「帰ってこいよのまちづくり」につなげる奨励策などの具体的な施策につなげてまいりました。

これまでの2年間において行ってきた様々な取組について、少しずつではあります。成果が表れ始めてきたと感じております。一つの事例を申し上げますと、昨年の1年間で、丹波市が誕生して以来はじめて転入者が転出者を上回る、転入超過となりました。令和5年度は、これまで取り組んできた市政運営の基本的な考え方「市民が暮らしやすい丹波市」「子育て世代・現役世代が魅力的に感じる丹波市」「帰ってこいよ・帰ってきたいと声かけ合える丹波市」「子どもを産み育てる喜びあふれる丹波市」の視点を踏襲しつつ、それらの取組に新たな創意工夫を凝らし、まちづくりをさらに前に押し進めてまいります。

① 「市民が暮らしやすい丹波市」

脱炭素社会に向けた環境にやさしいまちづくりに取り組みます。地球温暖化による気候変動は、世界的な問題であり、私たち一人ひとりが身近な生活環境の問題として認識し、丹波市全体で地球温暖化対策に取り組む必要があります。地球規模の課題である気候変動の解決および脱炭素社会の実現に向けた取組を着実に進めてまいります。

② 「子育て世代・現役世代が魅力的に感じる丹波市」

デジタル技術を活かした暮らしやすく魅力あるまちづくりに取り組みます。暮らしを豊かにしていくために、市民生活や社会経済活動に大きくかわるものがデジタル技術です。昨年12月に策定した「丹波市DX推進計画」に掲げる『+デジタルで、「快適・便利なまち」丹波市へ』を合言葉に、市民生活の中にデジタル技術の導入を図り、暮らしの価値や利便性を高めるまちづくりを進めてまいります。

③ 「帰ってこいよ・帰ってきたいと声かけ合える丹波市」

移住・定住の促進や関係人口による交流あふれるまちづくりに取り組みます。人口減少のサイクルをできるだけ早期に好転させるためには、人口構造の若返りを見据えた人口政策の強化が必要です。特に過疎地域への人口誘引や関係人口増加に向けた取組など、さらなる人口政策を進めてまいります。

④ 「子どもを産み育てる喜びあふれる丹波市」

出産しやすい、子育てしやすい環境のまちづくりに取り組みます。人口増の流れを人口政策の好循環につなげていくためには、丹波市の未来を担う子どもたちの健やかな成長をより一層支援し、すべての子育て世帯と子どもたちが安心して暮らせる環境や仕組みづくりが必要です。「帰ってこいよと言えるまちづくり」の実現に向けた重要施策として位置づけ取り組んできた少子化対策・子育て支援のさらなる充実を図ってまいります。

令和5年度の重点施策

市政運営の基本的な考え方に基づく4つの重点施策について、それぞれ主な事業を紹介します

1

市民が暮らしやすい丹波市

脱炭素社会に向けた環境にやさしいまちづくりの実現に向けて、丹波市らしい田園風景や環境を守るため、丹波市ゼロカーボンアクションの推進、燃やすごみの減量化、地球温暖化対策実行計画の策定など市民・事業者・行政が一丸となって脱炭素社会の実現をめざします。

新規 丹波市地球温暖化対策実行計画の策定

1,200万円

2050年ゼロカーボンシティの実現に向け、温室効果ガス排出量の削減、再生可能エネルギーの活用を進める必要があります。地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、市民、事業者、その役割に応じて取り組むべきことを定めた地球温暖化対策実行計画を策定します。



ゼロカーボンシティ宣言を表明

令和4年12月27日、丹波市長と丹波市議会議長の連名で、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「丹波市ゼロカーボンシティ宣言」を表明しました。

2

子育て世代・現役世代が魅力的に感じる丹波市

デジタル技術を活かした暮らしやすく魅力あるまちづくりの実現に向けて、国の「デジタル田園都市構想」や「丹波市DX推進計画」に基づき、デジタル化の推進を図り、デジタル技術を活用した利便性の高い市民サービスの提供により、市民の暮らしを向上させます。

新規 キャッシュレス決済の推進 2,778万円

新しい生活様式への対応や手続き時間の短縮を図るため、会計課や各支所、市の公共施設における各種証明書発行手数料や使用料、市税の支払いについてキャッシュレス決済サービスを導入します。



新規 「書かない窓口」の実現に向けた取組

5,182万円

行政手続きを行う窓口を中心に、セキュリティの高いWi-Fi環境を整備します。マイナポータルぴったりサービスなどにより、オンライン申請した情報をデータ送信できるようにネットワーク環境を構築するなど、「書かない窓口」をめざします。

＼ そのほか /

新規 デマンド（予約）型乗合タクシー運行システムの更新（1,600万円）



3

帰ってこいよ・帰ってきたいと声かけ合える丹波市

移住・定住の促進や関係人口による交流あふれるまちづくりの実現に向けて、人口構造の若返りを見据えた新たな移住支援策を実施し、人口誘引や関係人口増加に向けた取組を進めています。



拡充 丹波移住テラスの運営 **2,754 万円**

移住に関する住まい、仕事、コミュニティなどのさまざまな相談をワンストップで対応するとともに、過疎指定を受けた青垣・山南地域への移住を重点的に行う相談員を新たに1名配置し、市の魅力あふれる暮らし情報の発信を行います。

新規 丹波竜の里公園周辺の整備 **137 万円**

丹波竜の里公園周辺の整備を行うことで、利用促進を図り、丹波竜の里公園および丹波竜化石の発見現場における一体機能の強化を図ります。

＼ そのほか ＼

新規

観光振興に向けた周遊促進 (248 万円)、関西学院大学へのフィールドワーク支援 (150 万円) 若者定住促進家賃補助金 (120 万円)、若者引越支援金 (180 万円) 若者定住マイホーム取得補助金 (700 万円)

4

子どもを産み育てる喜びあふれる丹波市

出産しやすい子育てしやすい環境のまちづくりの実現に向けて、こども医療費の無料化をはじめ、産前産後のサポート拡充、ふれあいの場となる公園整備など、希望を持って子育てできる環境を充実していきます。



新規 高校生までの医療費無料化 **2億 6,510 万円**

医療費における経済負担の軽減を図るため、令和5年7月以降の診療分について、高校3年生までの医療費を無料化します。

拡充 安心して妊娠・出産・子育てができる支援の充実 **3,368 万円**

産前産後サポート事業の拡充や妊婦健康診査助成額の増額、ペアレントトレーニング事業を開始します。

＼ そのほか ＼

新規

スポーツピアいちじま児童公園の整備 (50 万円) 第3期丹波市子ども・子育て支援事業計画の策定 (253 万円)

継続

出産準備・子育て応援給付金 (4,056 万円)、山南中央公園の移転整備 (4 億 1,073 万円) 青垣児童公園の整備 (7,350 万円)、ひとり親家庭の医療費助成の特例期限延長 (1,817 万円)

「市民と企業が元気な丹波市をめざして」 8つの主要施策から事業をピックアップ



詳細は市ホームページに
掲載しています。



ふるさとへの愛着を育む取組

新規 高校魅力化支援事業

300万円

市内の県立高等学校の魅力・特色づくりに取り組むことを目的として設立した団体の活動に対し、交付金を支給します。



＼ そのほか /

オリジナル学習教材 STGs ゲームの作成 (610万円)
市島地域市立小学校の整備 (4,513万円) など



企業に元気をもたらす取組

新規 就職支援ポータルサイトの構築

950万円

これまで冊子で発行してきた企業ガイドブックをサイトに転換し、企業情報や就職面接会の開催などのお知らせを総合的に発信します。



＼ そのほか /

仕事と家庭の両立支援休暇取得奨励金 (200万)
設備投資支援補助金の拡充 (4,300万) など



生活基盤の整備と 防災力強化に向けた取組

新規 除雪車・小型除雪機の購入

341万円

市内で唯一の豪雪地帯である青垣地域での安全な通行を確保するため、除雪車と小型除雪機を購入して貸し出します。



＼ そのほか /

消防団車両の購入 (3,791万円)
河川改良事業 (2億1,490万円) など



安心して暮らせる福祉の 充実に向けた取組

新規 高校生によるヤングケアラー啓発
作品の制作

127万円

市内の高等学校などに対して、ヤングケアラーに関する啓発作品の制作を依頼し、多くの市民に身近な問題として関心を持つ機会を提供します。

＼ そのほか /

第4期丹波市障がい者基本計画などの策定 (628万)
柏原福祉センターの大規模改修工事 (450万) など

令和5年度の主な事業

6

地産地消の推進や森林環境整備に向けた取組

新規 道の駅あおがき再整備計画の策定
390万円

野菜直売所の屋内移設や生産物直売食材提供施設の改修、駐車場の拡充、トイレなどの老朽化した設備の更新と機能を拡充するための工事計画を策定します。



5

自治会・地域それぞれが元気になる取組

新規 地域おこし協力隊による地域づくり支援
479万円

都市部の人材を地域おこし協力隊員に招き入れることで、新たな発想や視点で地域住民と協働して様々な活動に取り組み、地域住民が主体的に行う地域づくり活動をサポートします。



＼ そのほか /

オーガニックビレッジ宣言（410万円）
Jークレジットプロジェクト計画の策定（400万円）など

＼ そのほか /

自治会への地域再生アドバイザーの派遣（120万）
女子野球タウンに関する取組（488万）など

8

情報発信力の強化に向けた取組

新規 市公式ホームページのリニューアル
1,600万円

知りたい情報をわかりやすく、市の魅力が伝わりやすいホームページをめざし、市公式ホームページのリニューアルを行います。



＼ そのほか /

広報戦略プランの策定

7

公共施設の適正化に向けた取組

新規 市島複合施設の整備
3億7,757万円

老朽化の進む市島支所および市島農村環境改善センターを解体し、同一敷地内に、支所機能と体育館機能を有する複合施設を整備します。



＼ そのほか /

丹波竜化石工場の拡充及び山南支所の改修(3,440万)
小中学校施設の整備（6億4,177万）など